

## 鳥獣等被害対策の今後の方針は

地域住民が捕獲に取り組める「地域駆除隊」を検討していく



古川 美栄  
自民クラブ

### 鳥獣等による被害状況とその対策について

- 問** 鳥類による農作物被害は、今後ますますの拡大が懸念されるが、その対策は。
- 答** 地域から要請があった場合、田原市猟友会に依頼して、猟銃での駆除活動を行っている。農業者には、防鳥ネットや光テープ、トラ風船などを設置して自己防衛に努めてもらっている。
- 問** かかしの設置効果は。
- 答** 風などにより、常時動く仕掛けがしてあるものは、大変効果がある。
- 問** ハクビシンによる被害への市の対策は。
- 答** 農業者に小型のおりを貸し出し、猟友会管理のもと、捕獲している。
- 問** 電気柵の設置は、効果が高いと思うが、助成予算を増やす考えはないか。
- 答** 事前に要望調査を行い、次年度の予算措置をしていきたい。
- 問** 新規で狩猟免許を取得する人材を育成する必要があると思うが、助成する考えは。
- 答** すでに狩猟免許を取得している猟友会の現状や意向を調査し、検討していく。

- 問** 平成29年3月、愛知県において「イノシシ根絶エリア」に指定されたが、その目標と対策は。
- 答** 目標はイノシシの根絶、農業被害の未然防止。対策はネットや電気柵などによる防除と、おりによる捕獲。
- 問** 効果が期待できる対策に積極的に取り組んでいく必要があると思うが、今後の方針は。
- 答** 地域の声を聞きながら、地域住民が捕獲に取り組める「地域駆除隊」についても検討していく。



### 問 答

社会人に対する喫煙率低減のための取り組みは、がん検診の受診勧奨とともに、たばこの健康被害の情報提供をしている。たばこ健康マイレージの健康づくりの目標にも設定してもらっている。

### 問 答

市内全校で将来の喫煙防止につながる授業をしている。保健師が小学校に出向き、がん予防教育、正しい生活習慣や喫煙防止の啓発を行っている。

### 問 答

喫煙防止には子どもへの教育が重要だが、喫煙が心身に悪い影響を及ぼすことを教える授業は続けられているのか。

### 問 答

喫煙率を低減するための市の取り組みは、健康への影響についての啓発・教育、喫煙妊婦への禁煙指導、希望者への禁煙支援をしている。

### 田原市の喫煙対策について

受動喫煙防止のために基準をつくる必要があるのはガイドラインを制定していきたい



廣中 清介  
市民クラブ